

妙見宮大祭 7月21~22日



清澄

平成27年7・8月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

◎ 清 澄 寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (株) プラザー印刷
送料共1部100円

妙見宮大祭

摩尼殿の裏手には当山の奥之院妙見宮があり、清澄山の根本鎮守である北辰妙見大菩薩がお祀りされています。

当山と妙見菩薩の関係と
いうのは、「771年に当山開山の不思議法師がこのお山に登られ、妙見菩薩よりこのお山で修行をなささいという啓示を受けたのが清澄寺の始まり」と言われており、その逸話から毎年7月21日〜22日の2日間にわたり、年に一度の妙見菩薩の大祭が行われます。

二宮別當の法味言上によつてお開帳された妙見菩薩は、一年振りにご尊顔を現され、そのお姿から放た

お知らせ

9 月

13日 14:00
虚空蔵菩薩大祭

20~26日
彼岸会

27日 19:00
信行会 (唱題行)

10 月

27日 14:00
お会式

27日 19:00
信行会 (唱題行)

28日 5:40
晓天法要

れるご威光は地元漁船関係者、近隣・遠方よりいらした大勢の信徒の祈りに応えているようでした。



参拝に来られた方々

宮崎執事
長はじめ山
務員の読経
の声、木剣
修法による
ご折持が盛大に行われました。



当山妙見菩薩の紙札画

「妙見菩薩とは？」
北の夜空をながめると、不動の星を見る事ができます。この星は北極星と言います。この星を神格化したのが「北辰妙見大菩薩」です。一般には「妙見さん」として愛称されています。
妙見菩薩のご利益は「目が美しく澄み切っていて物事の真相を見極める力を持つ」とされ、国土を守り災厄を防ぐとともに目の病にも効験がある」と言われ伝えられています。

大施餓鬼会

8月1日午前11時より、二宮別當大導師のもと、祖師堂に於いて大施餓鬼会が奉行されました。

この施餓鬼会は護山会会員の各家先祖並びに会員物故者の追善を中心とした法要であります。



施餓鬼会を厳修する式衆

施餓鬼会では、自分の家の先祖と共に四生六道法界万霊有縁無縁の諸霊位へ対し、法要の中で、「如以甘露灑 除熱得清涼 如從飢 回来 忽遇大王膳」という経文を唱えます。

「甘露を以て灑ぐに、熱を除いて清涼を得るが如くならん。飢えたる国より

来つて、忽ちに大王の膳に遇わんに」という意味があり、全ての霊位に対し追善の誠を捧げました。



塔婆への灑水

大施餓鬼会と 盃蘭盆会を厳修

盃蘭盆会

宗祖日蓮大聖人盃蘭盆御書に曰く「日蓮尊者が法華経を信じまいらせし大善は、我が身仏になるのみならず父母仏になりたもう」法華経を信じ持つことで、自分だけでなく父母も仏になることができるということ



総代さんをはじめ、新盆のお宅と一般参拝の方々

とであります。

8月10日午後1時より奉行された当山の盃蘭盆会はお檀家を中心とした法要で、総代さんをはじめ新盆のお宅の皆様が出席され営まれました。ご先祖様をお迎えし、感謝の誠を捧げる「おもてなし」の行事です。法要に参列された参拝者



幡水香を行う参拝者



挨拶をされる三宮別當

は、ご宝前でお経文の書かれた幡を立て、供物に灑水をし、お焼香を行います。(幡水香)

そして唱えるお題目の功德によって、ご先祖様への感謝の気持ちが届けられたことと思えます。

本院の解体が完了

4月から始まった本院の解体工事も6月に終り、同月下旬に開催された建設委員会で更地になった本院跡地の確認をいたしました。



本院跡地を確認

をあらわす「地縄張り」が行われました。



地縄張りの確認をする別當(右端)

新本院への改築に向けて、8月に改築場所

千葉教区長来山

8月27日、日蓮宗千葉教区より富永観瑞教区長(千葉県東部宗務所長)、荻野泰継千葉県南部宗務所長が来山され、千葉教区より本院改築浄財百万円を奉納拝受致しました。

謹んで御礼申し上げます。



富永教区長より浄財が奉納される

10月には地鎮祭を予定しておりますが、道路土木等の付帯工事もあり、引き続き皆様の御支援を衷心よりお願い申し上げます。

株式会社

ユー・エス・イー

新入社員研修

システム開発を手がける株式会社ユー・エス・イー様が、6月25、26日の1泊2日で本年も当山を会場に、新入社員研修を行いました。

4月に入社した31名の新入社員は、清澄寺で行われる研修を通して、自己を見つめ、会社にとっての自分というものを明確にすることを目的としています。

主に、荻野山務員が新入

社員の研修のサポートや社会人としてのマナーの指導を行いました。



日蓮大聖人が誓願を立てられた旭が森では、大音声訓練を行い、31名の新入社員は会社への思いや決意を表明すると共に、同期の社員の熱い情熱に触れ、大きな刺激になったことと思います。

清澄寺の本山朝勤にも参列され、日の出前の起床と、慣れない正座やお経に苦心している様子でしたが、1泊2日の短い研修期間の中で、率先して行動し、協力し、一生懸命に取り組む姿は初日とは見違えるものとなりました。

コスモス幼稚園

林間学校開催

本年も7月16日、18日の2泊3日で、清澄寺を会場にコスモス幼稚園の林間学校が開催されました。

園児134名、職員33名、総勢167名にも及ぶお泊まり保育です。

2日目の朝のお勤めに参加されましたが、朝早い時間ということもあり眠い目

をこすりながらの参拝となりました。

仏事体験、キャンプファイヤーなど日頃体験しないことに加え、両親と離れてお泊りすることは園児たちにとって大変刺激のある時間になったことと思います。

期間中、皆仲良く過ごされ虚空蔵菩薩に智慧をいただいて元気に地元へ帰られました。



寺子屋開催

(少年少女修養道場)

7月23、25日に当山を会場とし、千葉県南部日蓮宗青年会主催の「第24回寺子屋子供道場」が開催され、総勢110名のスタッフと子ども達が参加しました。



両親のもとを離れ、緊張と不安で始まった寺子屋も、日青会の様々なカリキュラムを仲間と一緒に取り組んで行く中で、笑顔も増え次第に仲良くなりました。

わずかな期間ではありましたが、普段の日常生活では味わうことの出来ないお寺での生活を通じ、子供達の心と体の成長の一助となる貴重な体験になったことと思います。

千葉南部青年会

読誦会開催

7月3日、清澄寺信育道場に於いて千葉南部日青会の読誦会が開催されました。



当日は7月23日から行われる千葉南部日青会主催の寺子屋を控えていた為、打

度牒交付式

平成27年度第2回度牒交付式が、8月5日から6日にかけて実施されました。

今回、全国各地から55名の度牒生が来山され、受付後、宗務院の指導により信育道場にて仏前作法ならびに読経テストを受けられました。

その後、祖師堂にて度牒交付式の予行練習をし、虚空蔵菩薩のお開帳を受けられ、夜には千葉南部布教隊による法話を拝聴されました。

翌日は午前4時に起床

合せを行いその後読誦会が行われました。

この読誦会は月に1度、千葉県南部日青会の各聖が集まり、法華経の二十八巻を1年を通して読むものがあります。

今回は第四之巻を読み、一時間程の間、読経の声が山内に響き渡りました。



し、布教隊の先導により旭が森にて旭日遙拝。5時30分より小林順光宗務総長を大導師に、度牒交付式が執り行われました。

境内に度牒生の読経とお題目の声が響き渡り、55名の度牒生一人一人に宗務総長より輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝にお誓い致しました。

談話室

今年も暑い夏が続く、テレビでは高温注意情報が流れていたと思いきや、同じ8月でも下旬では、10月の気温になったりと特に異常な気象を肌で感じる季節でもあります。

今月13日には虚空蔵菩薩

の大祭があり、それが過ぎるとお彼岸を迎えます。

彼岸は23日の秋分の日を中日に前後一週間です。

日頃の生活の中で、自分の生き方などを振り返って反省したり考えて懺悔するのが彼岸の意義です。

またご先祖様に感謝し、お墓参りをされご報恩の誠をつくしましょう。